

平成18年度決算の概要

問い合わせ先 財政課☎32-2020

特徴

- ◆ 歳出決算規模 7.7%減
- ◆ 地方交付税の大幅な減額
- ◆ 財政調整基金14億円の取り崩し

一

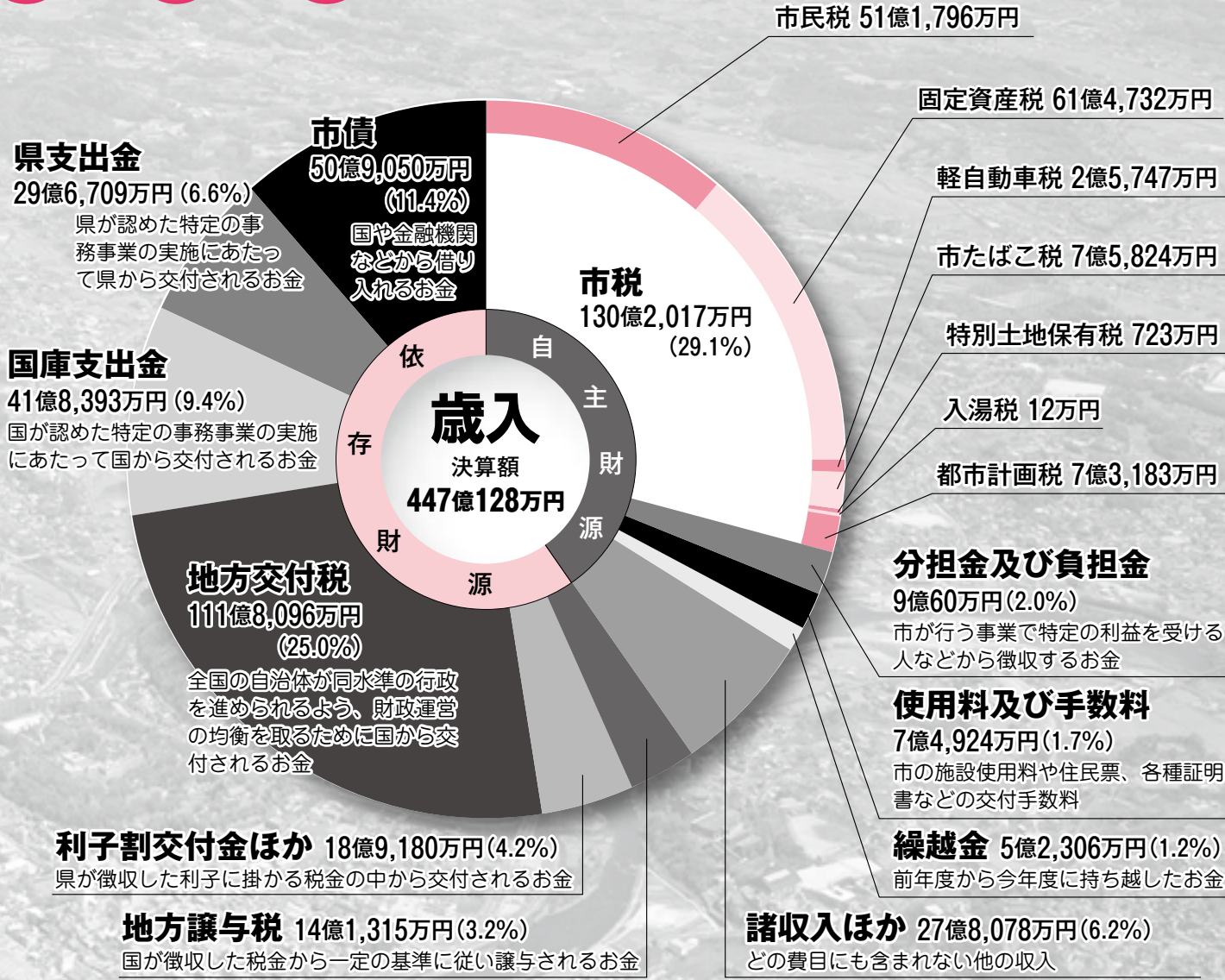
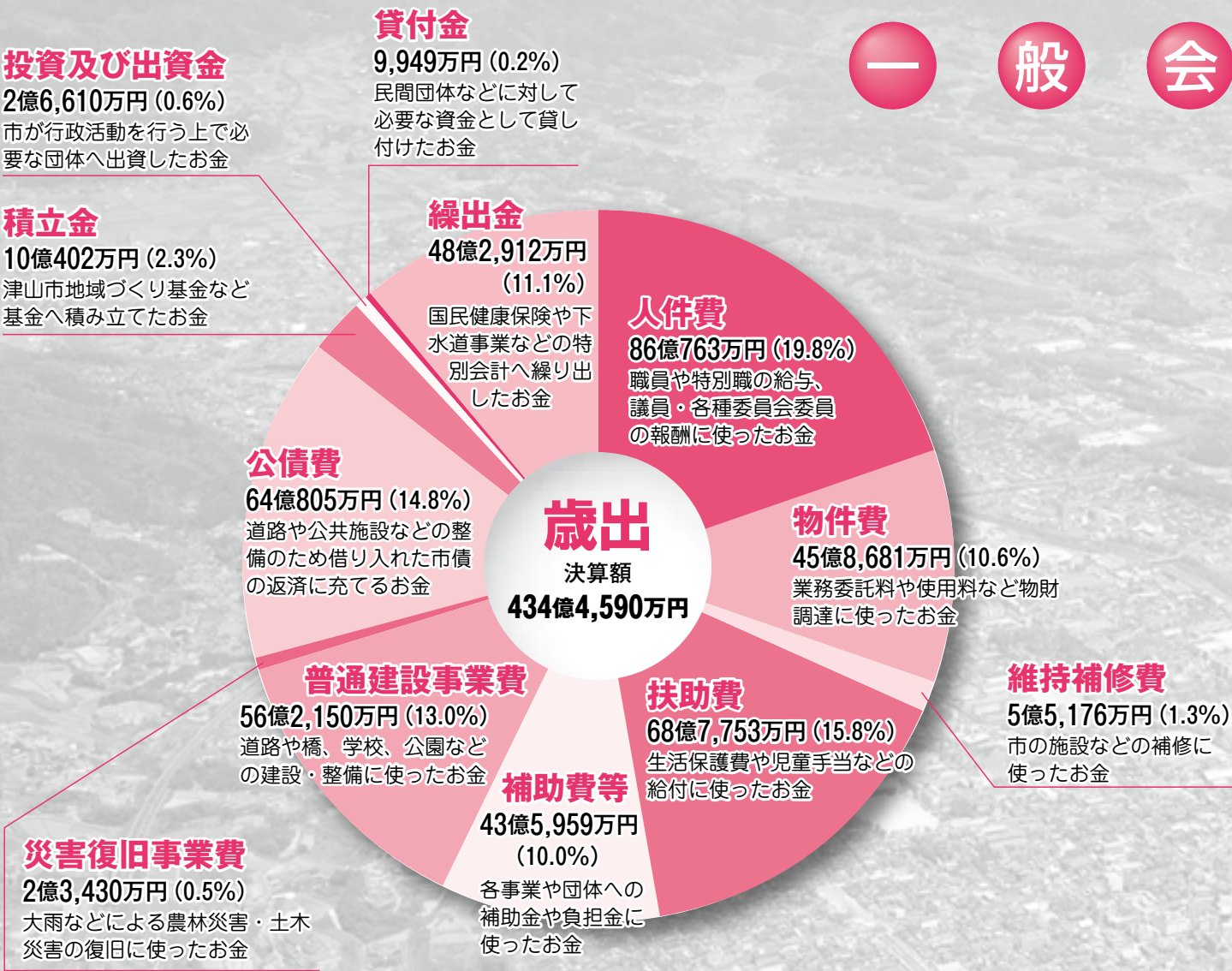
般

会

計

決

算



市民1人あたり

歳出

約39万円

(平成18年度末の人口をもとに計算)

目的別歳出	区分	支出済額	構成比
	議会費	4億1,101万円	0.9%
	総務費	51億 988万円	11.8%
	民生費	107億2,610万円	24.7%
	衛生費	39億8,891万円	9.2%
	労働費	1億8,687万円	0.4%
	農林水産業費	24億1,110万円	5.6%
	商工費	8億2,249万円	1.9%
	土木費	59億 680万円	13.6%
	消防費	16億7,966万円	3.9%
	教育費	53億3,537万円	12.3%
	災害復旧費	2億3,430万円	0.5%
	公債費	63億9,325万円	14.7%
	諸支出金	2億4,016万円	0.5%

歳入

◆ 地方交付税は前年度に比べ14億5035万円（11・5％）減

◆ 財源不足のため財政調整基金14億円を取り崩し

歳出

◆ 市税は前年度に比べ3億583万円（2・4％）増額。徴収率91・1％で1・5ポイント上昇（22・5％）減少

◆ 市債は事業の選択の結果、前年度に比べ14億7840万円（22・5％）減少

一般会計決算概況

平成18年度一般会計決算規模は、歳入が447億128万円（前年度比7・4％減）、歳出が434億4590万円（前年度比7・7％減）となりました。歳入と歳出の差引は12億5538万円となり、翌年度への繰り越し財源1億1359万円を控除した実質収支は、11億4179万円の黒字となっています。

※主な事業を10ページに掲載

◆「しあわせ大國つやま」の実現を目指して第4次総合計画に盛り込まれた事務事業を積極的に実施